

女性部ニュース

キノハナワークショップ開催!!

小海支所女性部 古谷 久美子

小海支所女性部は冬季学習会として、キノハナワークショップを2月17日に開催しました。コロナ禍で従来通りの活動ができない中、支所会議室において換気、アルコール消毒、ソーシャルデイスタンスはもとより、お得意の会話も控えめに実施されました。

ところで『「木の花」ってなあに?』とお思いのことでしょう。木材をカンナで削ってできたカンナクズから作った造花です。北相木村で取り組んでいる村内の木材から出る「カンナクズ」を造花として甦らせているグループ「キノハナKinano(キナノ)」の皆さんを講師に、カーネーションの花束と角材をくり貫いた木目のきれいなボックスに二輪活けたふたつの作品を教えていただきました。



カンナクズはまるでリボンのようです。木材の種類によって木目はもちろん、香り、色、レースのように透けているもの、くるくると丸まって可愛らしいものなどあり、どんなカーネーションに仕上がるかを想像しながら選ぶのも楽しみのひとつです。

手のひらにカンナクズを折りたたみ、ひとまとめにし、細いワイヤーでまとめ、その上からグリーンのテープを巻いてガクを作ります。太いワイヤーで茎を作り最後に花びらの部分をハサミで切っていきます。これがなかなか思うようにいきません。プレッシュな花になるか、もう捨てるような花になるか不安に思っていたところ、講師の優しく、温かいアドバイスで素敵な作品に仕上げることができました。

参加者でできた作品を鑑賞し合い、中にはカンナクズの持ち味をじょうずに生かした独創的な作品もあり、皆さん、出来栄えに満足そうな笑顔でした。

早くコロナが収束し、本来の活動が戻ることを願ってやみません。コロナ禍の中、指導してくださった「キノハナKinano」の皆さん、自粛生活の中、楽しいひと時を持てたことに感謝いたします。